

伝統ある大運動会が開催されました。

9月21日に、伝統ある大運動会が開催されました。天候が心配され、強風でしたので、体育館開催となりました。

本校の恒例となりました無形文化財「牛舞い」を、子どもたちは、見事に演じました。一人一人の役を見事に果たし、会場を魅了しました。医者と牛のまがとりとの掛け合いでは、思わず会場から笑いが起きました。子どもたちの演技も大変上手でした。今年は、白団の優勝でした。白団優勝おめでとう！赤団も頑張りました。



4. 5. 6年生の組み体操では、これまでの練習をよく発揮しました。

きびきびとして美しい演技に、高学年の成長を見て取れました。

「やればできる！」ということを見事に示しました。学校の中でも、リーダー的役割を果たす高学年。今後の活躍が楽しみです。

素晴らしい応援合戦。6年生の活躍光る！

夏休みから準備を続け、どんな応援合戦にするかを話し合い、考え、検討し、創り上げてきました。練習も重ね、全学年を見事に引っ張りました。よく頑張りました。貴重な経験となりました。



地域とともにある運動会

P T A競技「学年対抗二人三脚」では、各学年の保護者の皆様に出場していただきました。低学年、中学年、高学年の3つのチームの追い越せ追い越されに、会場も騒然。最後の高学年の追い上げは、見事でした。

保護者の皆様の活躍で、運動会も大盛況。競技の準備なども協力いただき、大変ありがとうございました。心から、感謝申し上げます。



6年生と保護者の技巧走「こんなに大きくなりました」では、親子で協力しての競技。記念撮影も行われ、我が子の小学校6年間の成長を感じられる競技となりました。

すべての親子の笑顔溢れるひとときとなりました。会場からも温かい応援が送られていました。子どもたちの今後の成長が楽しみです。校区の皆様も、玉入れの参加へのご協力ありがとうございました。

人権学習コーナー

特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの 一方的な内容の言動が、一般に「ヘイトスピーチ」と呼ばれています。

ヘイトスピーチとは、たとえば、

- (1) 特定の民族や国籍の人々を、合理的な理由なく、一律に排除・排斥することをあおり立てるもの（「〇〇人は出て行け」、「祖国へ帰れ」など）
- (2) 特定の民族や国籍に属する人々に対して危害を加えるとするもの（「〇〇人は殺せ」「〇〇人は海に投げ込め」など）
- (3) 特定の国や地域の出身である人を、著しく見下すような内容のもの（特定の国の出身者を、差別的な意味合いで昆虫や動物に例えるものなど）

これらのことは、それを見聞きした方々に、悲しみや恐怖、絶望感などを抱かせるものであり、決してあってはならないものです。

ヘイトスピーチ解消法が制定された背景をしっかりと考え、私たちの日常生活における言動に、十分注意していきましょう。